

北見武道通信



いっぱいできたよ！！ 昨年 10 月下旬、当協会事務局で頂いた、某 100%ジュースのおまけ「プチトマト栽培セット」親指サイズの小さな鉢に腐葉土が少々、種子少々を翌 11 月上旬に栽培を開始しました。鉢植えから 4・5 日でカワイイ芽が顔を出しましたが、あくまでオマケ。無事に育つかは疑問でした。気がつけば、冬の日光を燦燦と浴びた小さい葉を広げる 2 本の姉妹がスクスクと大きくなり、普通のプチトマトよりは小さいですが、「オマケ」の概念をモノともせず大きな両手を広げて小さい実りをつけていきました。2 月中旬の月曜日、出勤時に鉢を見たところ水分不足で萎れているのを発見(一旦)！急いで水を与えたところ無事 2 本とも復活。その 3~4 日後には色付き始めました。そうして迎えた 3 月 1 日、遂に初収穫をむかえ昼食とともに試食しました。・・・が、甘酸っ・・・酸っぱい(p_q)。 観賞用として赤に黄色にオレンジに緑と、一足早い彩りで私たちを朗らかにしてくれています。

ニュースレター

・14 日の北見市議会予算審査第 1 特別委員会・学校教育部の審査で、中学校の 24 年度武道必修化の安全対策や指導内容に関する質問のほか「建設が予定される武道館を授業に活用してはどうか」「武道は指導者が重要。武道団体の有段者に指導をしてもらうべき」などの質疑がありました。学校教育部長は「武道団体の協力を得ながら教員の指導力向上を図り事故防止にも努めたい」と述べています。

シリーズ温故知新※全6巻-3

「加速損傷」とは、頭部に外力(回転加速力)が加わることで頭蓋骨内の脳が回転、脳と硬膜を繋ぐ橋静脈が破断する損傷で、頭部を強打し脳震盪のうしんとうにより起きる損傷とは異なる▼長野地裁松本支部はこのたび、柔道教室で、指導員が投げた技で、当時小学 6 年生が加速損傷を起こし急性硬膜血腫になったとし、その指導員に対し 2 億 4300 万円の支払いを命じる判決を下した▼柔道事故で子供を亡くした親達で作る「全国柔道事故被害者の会」は中学校の武道必修化は“安全面で問題有り”と警鐘を鳴らす▼国が進める中学校での武道必修化において、長野地裁での厳しい司法判断に見合う指導者への救済措置は準備されているのだろうか▼「武術から武道」へ進化して 128 年、真の教育にその真価が活かされてほしいと切望するが▼「敢えて寸を進まずして尺を退く」<戦いの場に於いて、微々たる前進に無理をするよりも、大きく退却して受け身にまわった方が最終的な勝利をおさめる>『老子』▼これからのに於ける“武道のすすめ”は、政治の為の加速損傷は決して許されない▼子供や指導者への安全安心に十分に気を配るところから始めたい。